

鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和6年度 学校報 No.31

文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和6年 11月22日



太鼓をたたくの楽しいな 鳥海子ども獅子舞に挑戦

11月20日(水)、4年生と5年生が民俗芸能「鳥海子ども獅子舞」の3回目をまいーれ館長様、スタッフの皆様から教えていただきました。これまで「りんご」「ほったい」の2曲の太鼓練習を行っています。2人1組で向かい合って練習していましたが、今回は本来の太鼓の構えで一人ずつたたきました。まいーれのステージでたたいたので、太鼓の音がよく響きました。改めて、基本となる太鼓のかまえ方、バチの使い方「スク ドン タン キツ」も復習できたようです。初めての6月は、太鼓をたたき始めると銘々のリズムになりがちでしたが、口で唱えたり、譜面を見たりして音をそろえるようになりました。



後半は、まいーれの子ども獅子をかぶって獅子ふりも練習しました。

3年生の校外学習「学ぶんチャレンジプログラム」で獅子ふり体験をしています。獅子頭を支える右手と左手の動きを思い出しながらカチカチと歯を鳴らします。「けっこう重いなあ」と呟く子どもが多かったです。太鼓チーム「キッドン キッドン キッドン ドン」と獅子舞チーム「スツパン スツパン スツパン パン」で一緒に合わせることに挑戦しました。あっという間の1時間に、次年度の民俗芸能学習を期待する子どもたちでした。

3年生社会科見学

市民の安全を守る仕事を学ぶ

11月20日(水)、3年生は由利本荘市消防署本署に社会科見学に行きました。2年生の地域探検で鳥海分署(笹子)を見学した子どもたちは、本署ならではの連絡システムを注目していました。

子どもたちは、通報や消火器の使い方を体験したり、連絡システムや消防車両の説明を熱心に聞きました。取材したことをいつでも振り返られるように担当係が写真や動画を撮影して記録する姿も見られました。見学中に救急車の出動依頼が入り、迅速な消防署員の方々の動きを目の当たりにする場もありました。地域の安全を守る方々の働きを学び、3年生は地域の安全のために自分たちにできることを見つめ直します。



委員会活動で ありがとう

11月は勤労感謝の日になんで、企画委員会では「ありがとうウィーク」を実施し、全校で「ありがとうカード」を贈り合っています。カードを1階廊下に掲示し、放送で紹介して、自分たちを支えてくれる人に感謝したり仲間同士でよさを認め合ったりする活動です。健康委員会では「ありがとう会食」を実施し、普段ランチルームで給食を食べていない調理員さんや校務員さん、事務の先生を学年部テーブルに招待して会食を企画しました。11月21日は2年生、4年生、6年生と調理員さんと事務の先生と一緒に給食をいただきました。二つの委員会の企画のおかげで、全校が周りの人のことを考え思いやりある生活のよさを感じています。



入賞おめでとう

◇2024年秋季秋田支部内大会(国際空手道連盟極真会館) 11月17日
組手 小学5年男子の部 優勝 佐***
組手 小学1年生の部 準優勝 佐***

あっ、いいこと考えた! ~表現や鑑賞に関する資質・能力を育てる造形活動を求めて~ 本荘由利図工・美術学び展 出品作品

【平面】	1年	佐***	「うさぎととらとあそんだよ」
	2年	佐***	「あじさいばたけ 花いっぱい」
	3年	佐***	「マスカットだけど、のれるバイク」
	4年	佐***	「幸せな生活のもとに咲く花」
	5年	佐***	「水中に残る潜水艦」
	5年	佐***	「世界の木」
【立体】	6年	佐***	「宇宙の海」
	6年	土***	「にじの鳥のかくれんぼ」
	1年	佐***	「あきのもり」
	2年	齊***	「わくわくする学校」
	3年	金***	「ひこうきと魚」
	4年	佐***	「伝説のへびりゅうと大きなつめ」
	4年	眞***	「ぐねぐね森」
	5年	菅***	「ビー玉ぼっとなコース」
6年	太***	「風の強い日」	
6年	佐***	「2054年のタワー」	

11月23日(土) ~
25日(月)
9:00~18:00
最終日は~15:00

由利本荘市文化交流館
「カダーレ」ギャラリーにて

「むこう三軒両隣・たすけあい事業」ごぞんじですか

~令和6年度由利本荘市PTA連合会教育懇談会より~

11月15日(金)に本荘グランドホテルで由利本荘市PTA連合会教育懇談会が行われました。各中学校区から出された要望書に対して由利本荘市、国土交通省本荘国道維持出張所、秋田県由利地域振興局建設部は書面回答、由利本荘市教育委員会教育総務課が回答を説明しました。次に、由利本荘市総務部危機管理課危機管理班から「みんなが主役・地域防災」の演題で講話をいただきました。「むこう三軒両隣・たすけあい事業」、平時も災害時も支え合える「ご近助づきあい」が提唱されました。「ご近所の一人で避難することが困難な方のために、声を掛け、助け合う避難ができるよう防災活動をきっかけとした地域の絆づくりを目指す取組」と説明があり、共助の大切さ・ありがたさを感じさせられました。